

## ～ドローンを使った潜水捜索を行いました～

小型ながら高性能、扱いやすいシンプルな操縦性で急速に使用用途が拡大している小型無人機ドローン。

当団体ではこのドローンを災害時の被災地での運用を目指し、日本ドローン協会と協定を結んでおります。

5月24日には南三陸町歌津で東日本大震災行方不明者の手がかりを探す潜水捜索時、ドローンの運用試験を兼ねて船の上から航空ドローン・水中ドローンの2機を使いダイバーのサポートを行いました。

今回の潜水捜索では水深20m付近の海底で津波により沈没した漁船を発見し船体の一部を回収しました。回収した物を地区の会長に確認してもらおうと船の持ち主が見つかり、7年ぶりに自分の船がある場所が分かり、持ち主の漁師さんはとても喜んでいました。

ドローンを検索に使う事で、今まで船から目で確認していた潜水中のダイバーの位置を、ドローンが上空から確認する事でいち早く把握する事が可能になり、水中ドローンが先に捜索地点を探し何か発見した場合、ダイバーが水中ドローンのケーブルを伝い潜水時間を短縮し発見物の場所に向かえるなど、ドローンを使った利点を発見することが出来ました。

ドローンの操縦資格希望者への講習会の案内などもしていく予定です、資格希望の方は下記までご連絡ください。

連絡アドレス：[tsunagari311@gmail.com](mailto:tsunagari311@gmail.com)



7年ぶりに発見された漁船

回収した漁船の一部

## ～南三陸歌津長須賀つながりビーチの近況～

「歌津の子ども達の地元の海で泳ぎたい想い」と全国から集ったボランティア。震災による津波で宮城県内28か所の海水浴場が全滅しました。ガレキだらけの海から2年後、宮城県で3番目に復活した南三陸歌津長須賀つながりビーチ子ども海広場。

震災後5年連続で運営してきたつながりビーチの周辺も間もなく災害復旧工事が始まります。

今年も5月27日に学生とのビーチクリーンを含め、2013年3月から現在までの5年間で延べ139日間、4176人のボランティアが参加しました。

防潮堤が出来る事で道路から見渡す志津川湾の美しい風景が見えなくなるのは残念ですが、多くのボランティアが訪れ地元住民の砂浜存続の声により、防潮堤の建築形状が変わる事となり、150mの小さな天然砂浜は残る事が決まりました。

今年の南三陸つながりビーチは防潮堤工事の為、クローズとなります。



## ～ネパール支援訪問を行いました～

当団体では、4月4日～11日に10回目のネパール支援訪問を行いました。7日には当団体が再建した、マイディ村つながりスクールにて絵に興味のある子ども達を集め、絵の教室と日本語の勉強会を行い、9日には首都カトマンズにある孤児院を訪問し、日本の支援者から頂いた洋服を子ども達へプレゼントしたり、トイドローンを披露し、初めてドローンを操縦する子ども達は真剣な眼差しで貴重な時間を過ごしました。

今回、子ども達には自分の顔の似顔絵を描いてもらいました。今後、子ども達が上達して色々な絵が描けるように絵の教室を開催していきます。ホームページで寄付をしてくださる方に子ども達の書いた絵をお渡ししています。

寄付金は今後のネパール支援に使われます皆様のご協力お待ちしております。

ネパール支援ページ QRコード→

